

自治ひろこ

1629号

2023. 5. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 18日 県本部労働学校基礎編(ひょうご共済会館)
- 25～26日 自治労第164回中央委員会(県本部会議室)
- 27日 県本部衛生医療評「2023ナースアクション」(姫路労働会館)
- 27～28日 公営企業評議会第8回公企評合同政策集会(ラッセホール)
- 6月2日 県本部書記会議研修会書記協議会第41回定期総会(ユニトピアささやま)
- 3日 平和人権環境のつどい(加古川市人権文化センター)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

障勞評による労働局交渉

離職防止対策に取り組む 職場のフォローが重点課題

県本部障害労働者評議会は3月7日に兵庫労働局と交渉を行い、昨年11月24日に提出した要求書の回答を受け、県としての見解を求めた。

主なやり取りとして「精神障害者の離職率が高い状況に關しては、個人差があることや、義務化されてから期間が短くノウハウが蓄積されていないため、出前講座等を活用し職場での応援者を増やしていきたい。」

また、アフターケアは非常に重要な課題であることから今後も徹底的に取り組んでいきたいとの回答を引き出した。

また、コロナ禍で在宅ワークやウェブ会議など新たな働き方が一気に進んだが、在宅ワークでは介護が受けられないなどの問題については「就労側と福祉側の制度を上手く活用できるように法整備を進めていく」と回答した。



県の見解を求める交渉団

最後に、障害者雇用の推進や労働環境整備に向け、情報の収集と事例周知のため、交渉継続を要望し交渉を終えた。



県会宝塚の橋本さんと三木の西垣さんが初当選

統一自治体選挙結果

橋本さん 西垣さん 初当選

各地域で政策実現めざす

統一自治体選挙は、県会と神戸市会が4月9日、芦屋・宝塚・明石・三木市議選が4月23日投票の日程で実施され、自治労組織内候補11人のうち、明石を除く10人が激戦を制し、見事当選を果たした。

県会では神崎郡の上野英一さんが無投票で5回目の当選を決め、垂水区(定数3)立候補4)の黒田一美さんが2位で7回目、川西(定数3)立候補

統一自治体選挙組織内候補結果	
【県会】	
黒田一美(垂水区)	21,003票・2位当選
上野英一(神崎郡)	無投票・当選
北上あきひと(川西・川辺郡)	16,504票・2位当選
橋本なるとし(宝塚市)	14,754票・3位当選
【神戸市会】	
よこはた和幸(中央区)	3,931票・6位当選
伊藤めぐみ(北区)	7,047票・3位当選
かじ幸夫(西区)	6,480票・4位当選
【芦屋市議会】	
山口みさえ	1,152票・20位当選
【宝塚市議会】	
梶川美佐男	1,430票・24位当選
【明石市議会】	
よしだ秀夫	1,982票・31位次点
【三木市議会】	
西垣ひろし	1,266票・11位当選

5)の北上あきひとさんも2位で2回目の当選を果たした。宝塚(定数3)立候補4)では宝塚市役所を退職し、前回補欠選挙で惜敗した元宝塚市職労委員長の橋本なるとしさんが3位で初当選を果たした。

神戸市会では中央区(定

数6)立候補10)でよこはた和幸さんが6位で5回目、北区(定数9)立候補14)で伊藤めぐみさんが3位で3回目、西区(定数10)立候補15)では、かじ幸夫さんが4位で2回目の当選となった。

後半戦の市議選は、芦屋(定数21)立候補29)では8人が落選すると激戦を制し山口みさえさんが20位で6回目。宝塚(定数26)立候補35)は梶川美佐男さんが24位で4回目の当選を果たしたものの、明石(定数30)立候補43)では、13人が落選するという大激戦となり、よしだ秀夫さんは健闘したものの、僅か59票届



大西 英剛

6月期闘争 業務量に見合う人員を 統一闘争に結集し一歩前へ

この間の人員削減により現場は限界を感ずしており、6月期は6月2日に1時間ストライキを配置し、人員確保・男女平等・現業公企統一闘争を取り組み、夏期一時金は6月9日に29分時間内食い込み集会を配置し、課題の前進を図る。

単組では職場単位の人員配置の現状、時間外労働時間、年休・振替休の取得状況などを把握・分析し、職場の意見に基づいた業務量や任務分担の見直しなど必要な人員確保に取り組む。男女平等推進の取り組み

夏期一時金闘争では、勤め手当の成率率運用の導入を認めず、支給水準確保をめざす。また、会計年度任用職員等については、常勤職員との均等待遇を追求し、勤め手当を含む総額の支給を求める。

6月期闘争の日程	
【人員確保闘争】	
(現業公企第1次ゾーン)	
(男女平等産別統一闘争)	
要求書提出	5月16日(火)
回答指定日	5月26日(金)
交渉ゾーン	5月26～6月1日
統一交渉日	6月1日(木)
統一行動日	6月2日(金)
(1hスト配置)	
【夏期一時金闘争】	
要求書提出	5月24日(水)
回答指定日	5月31日(水)
交渉ゾーン	5月31～6月8日
統一交渉日	6月8日(木)
統一行動日	6月9日(金)
(早朝29分配置)	

り越して情けなくなる。同じ公務職場の仲間の支援があつてこそ行政への信頼はかろうじてつなげた。統一地方選の結果は、公務員批判や身を削る改革を主張する勢力が優勢だ。要因は案外近くにあるかも。

しこう

コロナ禍で有名ホテルの行き届いた配りに評価が高いま「泊まりたいホテル」とファンであり続けている。今年三月末に組合員の雇止めや再任用拒否の対応が続いた。任用形態の違いはあれ、行政サービスの現場で働いてきた組合員への冷たい仕打ちを家族や地域の友人知人はどう評価したのだろうか。理由にならない説明を繰り返し、組合交渉で追い詰められ、最終的に謝罪する当局の姿は、憤りを通り越して情けなくなる。同じ公務職場の仲間の支援があつてこそ行政への信頼はかろうじてつなげた。統一地方選の結果は、公務員批判や身を削る改革を主張する勢力が優勢だ。要因は案外近くにあるかも。

男女とも学習会

男性の育休取得を進めよう

男女平等闘争で育休の条件整備を

「男性の育休を考える」をテーマに県本部男女がともに担う委員会主催の学習会が3月18日に神戸市教育会館で開催された。

「男性の育休取得とワークライフバランス」についてファゼーリング、ジャパン関西の理事を務める堀恭平さんが講演。これまでに、堀さんは仕事中心で働いてきたが、友人の過労死をきっかけに「本当に仕事



自身の体験をもとに講演する堀さん

のみ優先し、家庭や地域は付属にすぎないような考え方」に疑問を持ち「生活を变えるため、育休を取得し家庭や子どもを中心とした生活にした」と当時の思いを語った。また、育休最大の成果は「育児のしんどさを知ることで夫婦関係の基礎が出来た」と述べた。

講演では「お父さん効果」についても紹介し、父親と多く過ごした子どものIQが高いことや、成長期に父親とよく交流する子どもは非行に走らず新しい事への達成意欲が高いなどの特徴が見られ、結果的に父親が積極的に育児へ参加する事で、子どもが幸せになる可能性が高くなると語った。

ワークライフバランスについては、ノルウェーの例を示し、職場での上司の役割は職場全体の仕事を調整し、部下が育児・介護、怪我などで抜けても職場全体でサポートができる体制の構築に重点を置いており、日本の上司の役割と大きく考え方が違うとも述べた。

第2部のディスカッションでは「育休をとること、車の両輪となり、リスキヘッジになる」など意見が出された。

平和・人権・環境を考える集い
記念講演 赤井隆史さん
部落解放同盟中央本部書記長
6月3日(土) 13:30 開会
加古川市人権文化センター

衛生医療評会 病院集会

課題の共有を図る タスク・シフト／シェアで意見交換

県本部衛生医療評議会は3月18日、ひょうご共済会館で病院集会をウェブ併用で32人の参加のもと開催。山根正也事務局長より「保健師の増員」「5類感染症移行に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し」など12項目について情勢と基調提起を行ったのち、本部衛生医療評議会の平山春樹事務局長が補強提起し、今後の取り組みべき課題の共有を図った。

革に伴う看護師、コメディカルへのタスク・シフト／シェアについて、実施済みと未実施病院それぞれの課題、改善点について、意見交換を行った。

分散会では「タスクシェアの認知度に差がある」「タスクシェアを行うためには人員確保が必要」「現在の業務を整理して、全ての職種が無理のないようタスクシェアしていきたい」などの意見が報告された。

基調提起後のグループワークでは医師の働き方改革

は「各単組の課題や問題が

私たちが重なり、とても参考になった」「業務改善のタスクシフト／シェアも勉強出来て良かった。労働条件の改善についてしっかりと取り組んで行こうと思う」等の意見があった。



集会はウェブ併用で開催

メーデー4年ぶりの対面開催

誰一人も取り残されることのない社会をめざす

第94回兵庫県メーデー神戸中央大会が4月27日、神戸市大倉山公園野球場で4年ぶりに対面で開催され、組合員や家族が多く参加した。主催者を代表し、連合兵庫の福永明会長は「スーダンでも戦争が始まった。戦争は人権侵害の最たるもの。23春闘は急激な物価上

昇により全ての労働者が賃上げを期待し始めた。結果、連合集計が始まって以来の極めて高い賃上げとなった」とあいさつした。物価高は立場の弱い人々へ影響を与えており、セーフティネットの強化や暮らしを守る取り組み、ジェンダー平等の実現などを盛り込んだメーデー宣言を参加者は拍手で採択し、ガンバロウ三唱で大会を締めくくった。



約8千人が参加した

第22回 機関紙コンクール
参加対象および区分
自治労の県本部、単組、支部、分会および評議会等で発行される機関紙を下記の区分で募集します。
(1) 自作の部(パソコン・手書き新聞)
(2) 外注の部
応募方法
2023年1月から5月末に発行した機関紙の中から、
★旬刊、月刊の場合は連続3号分
★週2回刊、週刊の場合は連続5号分
★日刊(週3回以上)の場合は連続10号分
をセットにして応募してください。また、応募票に必要事項を記入して添付してください。応募票は県本部にあります。賞金は(1)(2)とも入選5万円、佳作2万円、努力賞1万円です。審査結果は8月の機関紙「じちろう」紙上で発表予定です。
締切 6月30日(金)必着とします。
応募先 〒102-8464 東京都千代田区六番町1 自治労総合企画総務局「機関紙コンクール」係

新入組合員の皆さん
ただ今 申し込み受付中です!
社会人としての備えの第一歩は団体生命共済から。組合員だから利用できる生命と医療の保障です。
長期共済 積み立てタイプの長期共済もあります。

団体生命共済
団体定期生命共済
手続きは組合で
新入組合員の方は継続募集期間以外も申し込みます。
こくみん共済(全労済)
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合